

2016生態工学会 年次大会プログラム

6月24日(金) [口頭発表セッション, 年次総会, 表彰式, 特別講演会, 懇親会]

8:30- 参加登録開始(宮崎グリーンズフィア壱番館 8F ロビー)

■ 口頭発表(大会議室)

● セッション 1 [環境保全・修復, 環境影響評価, バイオマス利用]

- 09:30-09:45 01 観葉植物による大気中アルコールの吸収
○谷 晃・坂見 卓也(静岡県立大)
- 09:45-10:00 02 メタン発酵消化液を養液栽培に適用するための改質処理の検討
—炭酸カルシウムの投入による硝酸への転換の促進—
遠藤良輔・, ○前田全敏・渋谷俊夫・北宅善昭(大阪府大)
- 10:00-10:15 03 家畜排泄物の藻類および菌類による再資源化
○皆川秀夫・池田 創・川原雄介・深見星奈・米山 学・田中勝千・鈴木由美子(北里大),
土肥哲哉(日本有機資源協会)
- 10:15-10:30 04 陸棲ラン藻シートを用いた環境修復と宇宙利用の可能性
○加藤浩(三重大), 横島美香・木村駿太・古川純・富田-横谷香織(筑波大),
山口裕司・竹中裕行(マイクロアルジェ(株)), 河野伸之(多機能フィルター(株))
- 10:30-10:45 05 光質の違いがイチゴの開花数および果実収穫数に与える影響
○山下瑞季・渡邊博之(玉川大院農学研究科)、石田快(株式会社ニデック)

10:45-10:55

休憩

● セッション 2 [閉鎖系システム, 宇宙実験・利用, その他]

- 10:55-11:10 06 定常状態感度計算ソフト iCOSMOS の開発
○宮脇温子・小森聡一郎・白石文秀(九州大学大学院農学研究院)
- 11:10-11:25 07 宇宙居住のための空気再生に関する研究
○桜井誠人・島明日香(JAXA)
- 11:25-11:40 08 圏外環境で食糧利用が期待される生物種とその食品機能評価
○富田-横谷香織・木村駿太・阿部友亮(筑波大学), 加藤浩(三重大学),
木村靖子(十文字女子大学)
- 11:40-11:55 09 音と生態の関わりに関する研究の動向と展開の可能性について No.2
○田村治美(国際基督教大学)
- 11:55-12:10 10 電球色 LED と蛍光水銀ランプの光質が昆虫の年間誘引数へ与える影響
—埼玉県行田市における事例—
田澤信二, ○岡安賢司(岩崎電気株), 江村 薫

12:10-13:10

昼休み/各委員会

■ 年次総会・学会賞表彰式

13:10-13:55 年次総会(大会議室)

13:55-14:05 休憩

14:05-14:50 学会賞表彰式(大会議室)
受賞者講演

14:50-15:00 休憩

■ 特別講演会「宮崎発の技術で生態工学に貢献」(大会議室)

15:00-17:00

講演 食糧として利用する高機能植物の開発

宮崎大学農学部 教授 國武 久登

講演 宮崎の日照を生かした太陽エネルギー利活用技術

宮崎大学工学教育研究部 准教授 西岡 賢祐

17:00-17:30 休憩

■ 懇親会

17:30-19:30 大会議室

08:45— 参加登録開始

■ 口頭発表(大会議室)

● セッション 3 [食糧生産, 食品科学]

- 09:00-09:15 11 大麦麺作製技術の開発と力学物性の評価
○山崎優司・田村匡嗣・齋藤高弘(宇都宮大), 福島瞬・渡邊恒夫(栃木県産業技術センター)
- 09:15-09:30 12 クエの閉鎖循環式養殖における飼育水中の濁度および色度成分の除去
○遠藤雅人・鈴木千寛・杉浦康太(海洋大), 田村直司(岩大), 竹内俊郎(海洋大)
- 09:30-09:45 13 クエ飼育排水を用いたクビレズタの培養と生産量の推定
○岡田涼汰・金澤佳子・遠藤雅人(海洋大)
- 09:45-10:00 14 アイスプラント水耕栽培における pH の影響および
アイスプラントクエの RAS ポニックスにおける塩分の影響
○眞壁宙史・遠藤雅人(海洋大), 中村謙治(エスペックミック), 竹内俊郎(海洋大)

■ ポスターセッション(ロビー)

10:10-11:10(コアタイム)

- P01 もみ殻燻炭によるアンモニア含有水の処理
○平良駿也・白石文秀(九州大学大学院農学研究院)
- P02 光触媒反応粒子分散系の水処理特性
○城戸克也・白石文秀(九州大学大学院農学研究院)
- P03 名古屋市緑区大高地区と稲沢市祖父江町山崎地区における農地の活用と住民意識に関する研究
○武田美恵(愛知工業大学)
- P04 ファイトレメディエーションによる沿岸域の富栄養化防止
— Na・N・P 濃度が好塩性植物の生育に及ぼす影響 —
○馬場貴志(鳥取大農学部), 白井早紀(鳥取大院農), 藤山英保(鳥取大農学部)
- P05 溶解度図は微細藻類の振る舞いを理解するツールとなるか?
○野上礼次郎・脇坂 港(九工大生命体工)
- P06 閉鎖生態系モデルの作出に向けた取り組み
○生態工学会 若手の会(生態工学会 次世代科学社会活性化委員会)
- P07 オホーツク沿岸海跡湖能取湖の結氷期における 2008 年と 2012 年のクロロフィル a の動態
○西野康人・中川至純(東農大生物産業)
- P08 SAR フルポラリメトリ画像を用いた樹種分類
○細井文樹・打田欽也・大政謙次(東大院農学生命科学)
- P09 べき乗則型式における反応次数感度計算の問題点と解決策
○山田正嗣・岩永征士・白石文秀(九州大学大学院農学研究院)
- P10 個体ベースモデルによる超個体計算の影響
○中根昌克(日本大学理工学部)
- P11 国際設計コンテスト参加に向けた火星フライバイミッションの設計
○宮嶋宏行(国際医療福祉大学), Team Narabu(双)

- P12 火星環境を想定した貧栄養培地における陸棲藍藻 *Nostoc* sp. HK-01 の生育
○井上琴美・木村駿太（筑波大），新井真由美（日本科学未来館），加藤浩（三重大），
佐藤誠吾・富田・横谷香織（筑波大）
- P13 陸棲藍藻 *Nostoc* sp. HK-01 の乾熱耐性を司る鍵物質
○木村駿太（筑波大），加藤浩（三重大），市川創作・佐藤誠吾・富田・横谷香織（筑波大）
- P14 サンゴ砂礫栽培における培養液のECの差が，ミニトマトの生育・成分に与える影響
○藤原頌太・中林和重・利根川晴香（明治大学農学部），
- P15 培地の違いがミニトマトの生育に与える影響
中林和重・利根川晴香・○栗田大希（明治大学農学部）
- P16 培養液濃度および培地の違いがミニトマトに与える影響
中林和重・○伊東駿（明治大学農学部）
- P17 養液栽培における培地の違いがミニトマトの成育に及ぼす影響
○森山範昭・森野陽弘・中林和重（明治大学農学部）
- P18 養液栽培における培養液の違いがミニトマトの成育に及ぼす影響
○森野陽弘・森山範昭・中林和重（明治大学農学部）
- P19 点滅光照射がトマトの生体電位に及ぼす影響
○中林和重・高橋昂平・新井健太（明治大学農学部）
- P20 押麦飯，大麦飯および米飯のデンプン消化特性
○田村匡嗣・今泉椋・齋藤高弘（宇都宮大），福嶋瞬・渡邊恒夫・岡本竹己（栃木県産業技術センター）
- P21 乾燥方法の違いにおけるホップの苦味および香気成分の変化について
○井上大悟・田村匡嗣・齋藤高弘（宇都宮大），松本健一・岡本竹己（栃木県産業技術センター），
山下創（(株)ファーマーズ・フォレスト）
- P22 神奈川県における酒蔵の現状分析と今後の展望
○津田優樹・小原廣幸・石川晃士（玉川大学），齋藤高弘（宇都宮大学）
- P23 並列管型光触媒反応器によるエチレンの分解
○岩永征士・田之上祐太・白石文秀（九州大学大学院農学研究院）
- P24 竹炭の低コスト製造を可能にする半開放型可搬式炭化炉の開発
○篠崎正利（K-BETS），鹿嶋與一（竹もりの里），渡辺雅樹・福島巖（K-BETS）
- P25 営農継続型太陽光発電施設の水稲生育
○谷 晃・菅 敬・坂見卓也（静岡県立大学）
- P26 電気自動車を利用した圃場への電力供給の可能性
○蘆原昌司・安藤泰雅・鍋谷浩志（農研機構食品部門），石井雅久（農研機構農村工学部門），
小池修・酒井博幸・高橋正明（宮城農園研）
- P27 低炭素社会を目指す宮崎大学太陽エネルギー最大活用プロジェクト報告（2）
○金子宏・西岡賢祐・長瀬慶紀・酒井 剛・林 則行（宮崎大）

11:10-11:30

休憩

■講演論文賞表彰式(大会議室)

11:30-11:50

表彰式

11:50-12:00

閉会の挨拶